

笠間市国民健康保険データヘルス計画（第2期）中間評価

○第2期計画の中間報告

「笠間市国民健康保険第2期データヘルス計画」は平成30年度から令和5年度までの6年間における事業計画を策定したものです。

令和2年度は、計画の中間評価・見直しの年にあたることから、令和5年度の最終目標値に向けての取り組みを充実・強化するため、中間時点における目標達成状況や事業の成果を検証しました。

○目的

中間評価・見直しを行う目的は、立案した計画が軌道に乗っているかを確認し、進捗が滞っているようであれば、事業効果を高めるためにはどのような改善を行うべきかを検討し、目標達成に向けての方向性を見出していくことを目的としています。

また、計画策定時に設定した目標が具体的でなかったり、評価しにくいあいまいな指標であったりする場合、必要に応じて指標や計画を見直し・修正する必要があります。

以上のことから、中間時点での計画全体の目標や事業の評価・見直しを実施し、最終的な事業や計画の目的・目標の達成に向け体制づくりを行います。

○評価の方法

目標や事業の評価について、数値目標が設定されている場合、中間時点での実績値を収集し、アウトプット（事業量）、アウトカム（成果）により評価を行います。

また、個別保健事業について、アウトプット、アウトカムの未達成要因について振り返りを実施、事業や計画の最終目標への到達が難しいと思われる場合は、ストラクチャー（実施体制）、プロセス（事業実施過程）の面から課題を明らかにし、改善すべき点を明確にします。

○評価区分と評価基準

区分	評価基準
a	改善している
b	変わらない
c	悪化している
d	評価困難

○評価に対する実施体制

笠間市国民健康保険運営協議会、茨城県国民健康保険団体連合会に設置され、有識者からなる保健事業支援・評価委員会へ中間評価・見直しが適正に行われているか素案を提出し、助言・指導を受け、必要に応じて修正を行います。

1. 第2期データヘルス計画

『保健事業の整理』

①特定健診の受診率を向上するための事業				
目的	健康状態の把握、生活習慣病リスク者のスクリーニング			
対象	40～74歳の被保険者			
目標	特定健診の受診率を向上させる			
事業内容	(ア) 集団健診			
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
回数	58回	58回	59回	a
受診者数	5,603人	5,800人	5,228人	
(イ) 医療機関健診				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
契約機関数	570箇所	570箇所	578箇所	a
受診者数	142人	364人	193人	
(ウ) 人間ドック、脳ドック受診による特定健診受診				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
契約機関数	11箇所	11箇所	15箇所	a
受診者数	696人	950人	871人	
(エ) かかりつけ医からの健診結果提供				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
提供数	2人	40人	19人	a
(オ) J A組合からの健診結果提供				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
提供数	90人	95人	61人	a
(カ) 健診未受診者への勧奨通知				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
通知回数	1回/年	1回/年	5回/年	a
地区ごとに通知時期をずらし、5回に分けて通知発送した。				
(キ) 健診周知活動(市の広報紙や通知等)				
	策定時の参考値 平成28年度(2016年度)	最終目標値 令和5年度(2023年度)	実績値 令和元年度(2019年度)	評価
活動回数	6回/年	8回/年	10回/年	a

②特定保健指導の実施率を向上するための事業					
目的	保健指導を行い、メタボリックシンドロームの減少、改善を図る				
対象	40～74 歳の被保険者				
事業内容	動機付け支援及び積極的支援対象者に、特定保健指導を行う				
		策定時の参考値 平成 28 年度 (2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度 (2023 年度)	実績値 令和元年度 (2019 年度)	評価
	【修正前】 訪問延件数	94 件	120 件	30 件 ※1	d
	【修正後】※2 特定保健指導率		60%	53.8%	
	※1 実績値減少の理由：健診当日の初回面接導入に伴う減少（平成 30 年度～）				
※2 新しい実施方法を取り入れたことにより、指標を【訪問延件数⇒特定保健指導率】に修正。					

③生活習慣病未治療者に対する医療機関受診勧奨事業																	
目的	生活習慣病の重症化予防																
対象	特定健診の結果が以下の数値で、未治療の人 ①Ⅲ度高血圧以上（収縮期 180 mmHg 以上、拡張期 110mmHg 以上） ②HbA1c7.4%以上 ③LDL-C300mg/dl 以上 ④中性脂肪 750mg/dl 以上（乳ビ血清は除く） ⑤尿蛋白（2+）以上、または eGFR45 以下（70 歳以上は eGFR 35 以下）※血圧・ 糖尿・腎臓の治療をしていない人 ⑥AST または ALT 100U/l 以上 ⑦ヘモグロビン 9.5g/dl 以下																
事業内容	①健診結果の個別通知を送付する																
	②健診結果送付後 1 カ月を目安に、訪問にて受診の有無、治療内容、検査結果 の確認、生活習慣改善のための保健指導を行う																
	③レセプトによる確認と次年度の健診結果を確認する																
	訪問指導（循環器訪問）																
	<table><tr><td></td><td>策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)</td><td>最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)</td><td>実績値 令和元年度(2019 年度)</td><td>評価</td></tr><tr><td>【修正前】 訪問延人数</td><td>157 人</td><td>170 人</td><td>178 人</td><td rowspan="2">a</td></tr><tr><td>【修正後】※ 医療機関受診率</td><td></td><td>75%</td><td>71.9%</td></tr></table>					策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価	【修正前】 訪問延人数	157 人	170 人	178 人	a	【修正後】※ 医療機関受診率		75%
	策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価													
【修正前】 訪問延人数	157 人	170 人	178 人	a													
【修正後】※ 医療機関受診率		75%	71.9%														
	※ 訪問指導による医療機関受診率の向上が目標であるため、指標を【訪問延人数⇒医療機関】 に修正。																

④生活習慣病予防の啓発事業					
目的	生活習慣病予防に対する正しい知識の普及啓発				
対象	市民				
事業内容	健康講座等での知識普及				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
	健康講座	4 回	4 回	4 回	a
	糖尿病予防 関連教室 (口腔ケア講話含む)	9 回	18 回	18 回	
	慢性腎臓病 予防教室	6 回	6 回	6 回	
	健康体操等	88 回	32 回 ※	28 回	
	健康相談	123 回	150 回	144 回	
	歯周疾患検 診受診者数	58 人	94 人	72 人	
※ 開催回数減少の理由：平成 30 年度より事業対象者の見直しをしたため					

⑤生活習慣病予防健診による若年者の健康づくり事業				
目的	若年時からの健康づくりの意識づけ、異常の早期発見と早期介入			
対象	19～39 歳の市民			
事業内容	・ 集団で行う特定健診と同時に生活習慣病予防健診を実施する ・ 30～39 歳に対し、受診勧奨の個別通知をする ・ 結果送付時に健康相談の案内を同封し、健診結果の説明、生活習慣改善の保健指導を行う			
	策定時の参考値 平成 28 年度 (2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度 (2023 年度)	実績値 令和元年度 (2019 年度)	評価
健康診査	58 回	58 回	59 回	c
受診者数	822 人	900 人	659 人	

⑥その他の保健事業					
(A) 人間ドック、脳ドック受検費用の一部助成事業					
目的	疾病の早期発見、生活習慣の改善・健康保持増進を図る				
対象	40～74 歳の被保険者				
事業内容	助成金額：人間ドック：20,000 円 脳ドック：25,000 円				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
	助成定員	750 人	950 人	930 人	a
(B) ジェネリック医薬品の普及促進					
目的	医療費の削減				
対象	国保被保険者				
事業内容	(ア) ジェネリック医薬品希望シールの配布（保険証更新時に配布）				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
	配布回数	1 回/年	1 回/年	1 回/年	a
	(イ) ジェネリック医薬品差額通知送付				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
通知回数	2 回/年	2 回/年	2 回/年	a	
(C) 医療機関適正受診の啓発					
目的	医療費の削減				
対象	同様な傷病にもかかわらず複数の医療機関を受診している、 または、頻回受診をしている被保険者				
事業内容	訪問指導し、医療機関の適正受診について指導する				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
	訪問件数	7 件	12 件	6 件	b
(D) 禁煙の啓発					
目的	血管の疾患のリスクを低く抑え、健康を維持する				
対象	国保被保険者				
事業内容	生活習慣と密接な関係がある喫煙について周知する				
		策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	評価
	周知活動	- ※	2 回/年	1 回/年	b
※ 平成 30 年度開始事業のため、現状値なし。					

(E) 糖尿病性腎症重症化予防事業 【新規事業】											
目的	糖尿病性腎症の重症化するリスクの高い被保険者に対し、主治医と連携し保健指導を行うことにより、人工透析への移行を遅延・防止するとともに、医療費の適正化を図る										
対象	レセプトデータ等の分析により抽出した対象者のうち、顕性腎症期と早期腎症期で、生活習慣改善により腎機能の改善や維持が見込まれる方（定員 10 名）										
事業内容	・対象者の主治医に生活指導内容確認書の提出協力を依頼し、6 ヶ月間の指導を行う。 ・指導対象者 1 名に対し、保健師・看護師・管理栄養士による指導。 ・初回面接時にヒアリングを実施し、個人の状況に適したプランニングを作成する。 ・医師からの服薬管理指導の有無及び指導内容を情報提供書により確認し、重複や適正に服薬しているか確認する。食事療法によるカロリー摂取量の制限及び血糖コントロールを指導する。血糖コントロール、インシュリン抵抗性及び脂質代謝の運動療法により指導する。 ・生活指導内容生活指導内容について、指導中間及び終了時に主治医に報告を行い、今後の連携に繋げる。 <table border="1"> <tr> <th></th><th>策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)</th><th>最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)</th><th>実績値 令和元年度(2019 年度)</th></tr> <tr> <td>事業終了者数</td><td>- ※</td><td>10 人</td><td>6 人</td></tr> </table> ※ 令和元年度開始事業のため、現状値なし。				策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	事業終了者数	- ※	10 人	6 人
	策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)								
事業終了者数	- ※	10 人	6 人								
(F) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 【新規事業】											
目的	通いの場において、地域の課題に対応した健康教育や健康相談を実施し、生活習慣病等の重症化を予防する										
対象	国保被保険者及び後期高齢者										
事業内容	後期高齢者の保健事業との連携 <table border="1"> <tr> <th></th><th>策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)</th><th>最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)</th><th>実績値 令和元年度(2019 年度)</th></tr> <tr> <td>通いの場への関与数</td><td>- ※</td><td>10 回</td><td>- ※</td></tr> </table> ※令和 2 年度開始事業のため、現状値なし。				策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)	通いの場への関与数	- ※	10 回	- ※
	策定時の参考値 平成 28 年度(2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度(2023 年度)	実績値 令和元年度(2019 年度)								
通いの場への関与数	- ※	10 回	- ※								

『目標値の整理』

目標		指 標		策定時の参考値 平成 28 年度 (2016 年度)	最終目標値 令和 5 年度 (2023 年度)	実績値 令和元年度 (2019 年度)	評価
短期的 目標	高血圧	Ⅱ度高血圧の割合	収縮期血圧が 160～179mmHg かつ/または 拡張期血圧が 100～109mmHg	3.6%	3.2%	4.6%	c
		Ⅲ度高血圧の割合	収縮期血圧が 180mmHg 以上 かつ/または 拡張期血圧が 110mmHg 以上	0.6%	0.4%	0.7%	b
		収縮期血圧が 130mmHg 以上の割合		42%	38%	43.3%	c
		拡張期血圧が 85mmHg 以上の割合		17.7%	15%	19.4%	c
	糖尿病	HbA1c 値が 5.6%以上の割合		64.9%	60%	71.3%	c
		空腹時血糖値が 100mg/dl 以上の割合		55.2%	50%	53.6%	b
	脂質異常	中性脂肪が 150mg/dl 以上の割合		28.9%	25%	28.8%	b
		LDL-C 値が 120mg/dl 以上の割合		53.1%	50%	55.5%	c
	メタボリック シンドローム	該当者の割合		17.8%	17%	19.5%	c
		予備群の割合		9.6%	9.4%	9.3%	a
中長 期的 目標	特定健診	男性の受診率	40 歳代	22.5%	30%	24%	a
			50 歳代	24.7%	30%	26.3%	a
	医療費	1 人あたりの医療費の伸び率（前年度比）		1.7%	1.5%	5.6%	c
		生活習慣病に関する入院費用の割合		12.9%	10%	11.4%	b

◆まとめ

第2期データヘルス計画の中間評価を行った結果、『保健事業の整理』では、2事業について、評価指標をの修正を行いました。事業内容については一定の効果がみられたことから、見直し等を行わず、今後も継続推進します。

また令和2年度から、国において生活習慣病等の重症化予防や心身機能の維持を図ることを目的とした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が推進され、国民健康保険と後期高齢者医療保険の接続の必要性が高まる中、新たに「糖尿病性腎症重症化予防事業」と「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」の2事業を新規追加し、推進してまいります。

『目標値の整理』では、高血圧・糖尿病・脂質異常該当者の割合は増減を繰り返しており、改善には至っていません。特定健診の受診率、入院費の割合は、保健事業の取り組みによる成果が出て改善が見られましたが、1人あたりの医療費の伸び率は大幅に増加していることから、さらなる特定健診の受診を促し、病気の早期発見・早期治療へつなげるなど、国保加入者が自らの健康課題に取り組み、より健康的な生活習慣へと導くための支援を行います。

令和5年度の最終目標値の達成に向け、医師会や医療機関との連携強化を図り、効果的・効率的な事業を実施しながら、国保加入者の健康の向上と医療費の適正化に努め、国保制度の健全・安定を目指します。